

## “2023”もSDGs達成に向けて活動して行きます！ ～“2022”運営協議会活動の振り返り～

2022年もコロナ禍に翻弄されながら、町田市消費生活センター運営協議会委員は、くらしの中の関心事について研修学習・調査を行うとともに、市民への啓発活動として講演会や学習会の企画などを行ってまいりました。2023年もSDGs達成へ向けて、エシカルな消費者を増やすべく活動を続けます。

### 委員の学習研修としてこんなことをしました

#### ◆2月8日「バイオエネルギーセンター見学」

持ち込まれるごみを見て、ごみの減量（リデュース）と、より適切な分別を図っていかなければならないと感じました。そこで、6月22日に市民へ向けて現地で学習会・見学会を実施しました。



#### ◆3月15日「エシカル消費のすすめ」学習会

消費者教育支援センターの小林知子さんを講師に私たちがすぐできるエシカル消費について学びました。

- ①地場産の商品、旬のものを選ぶ。
- ②国際フェアトレード認証ラベル付きの製品を選ぶ。
- ③食べ物は、陳列棚の手前から取る。
- ④作った方の顔が見える商品を選ぶ。
- ⑤環境に配慮した商品や企業を選ぶ。
- ⑥障がい者雇用につながる商品を選ぶ。

「SDGs達成のための未来を考えるエシカル消費」

これらをくらしに積極的に取り入れることで、環境・生産者・消費者を守ることが出来ると学習しました。スーパーなどに、国際フェアトレード認証ラベルの付いた商品が増えてうれしく思っています。

### 市民へ向けてこんな企画をしました

◆2月27日「ホール講演会・私にもできるSDGs」  
魚住りえさん（フリーアナウンサー）、吉野賢哉さん（一社

SDGs アントレプレナーズ代表パートナー）をお迎えし、講演会を開催。お二人が対談しながら質問・回答するという形で進められ理解が深まりました。



まずは自分たちの身近なことで、環境や人にやさしいことを意識して取り入れていく、そんな人を増やしていきたいと思いました。

#### ◆7月29日・30日「まちだくらしフェア」開催

感染対策を取りながら「見つけよう！明日を変えるくらしのヒント」をテーマに37団体の皆さんと開催しました。展示や講演会・体験教室などを実施。ホール講演会では、「落語」と「漫才」で笑って学ぼう消費者問題を企画し、エシカル消費について学んでいただきました。

◆その他にも毎月くらしに役立つ学習会・テスト教室を企画実施いたしました。人気の料理教室は残念ながら「国産大豆でみそ作り」以外見合わせが続いていますが、「地球にやさしいみつろうエコラップをつくろう」「ハーバルライフを楽しもう」などの実習教室を開催し、楽しく学んでいただきました。



### 各運営委員が調査を続けています

2022年1月から「二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量調査」を続けています。運営委員の自宅でのごみ量、電気・ガス・水道（下水道含む）等の使用量を調査し、これらの数値でCO<sub>2</sub>排出量（環境省発表係数に準拠）の見える化をしています。努力でどのくらい減らせるのか試しています。また、2019年より実施しているラップ使用量調査も継続中です。（文責 広報部）

相談室

「契約していない！」  
「解約できない！」  
「解約したはず！」



～サブスクがとめられない！～

サブスクリプション（以下サブスク）とは、定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービスのことです。音楽配信や電子書籍の読み放題、商品のレンタルなど様々なビジネスに広がっています。一般的に、一度契約すると解約しない限り自動的に支払いが継続されます。

センターには、「契約した覚えがないのに毎月料金が引き落とされている」、「パスワードを忘れて解約できない」などの相談が増えています。

《事例1》

500円で専門家に相談できる質問サイトをクレジットカードで登録して利用した。回答に満足したのでいい評価をしたら、会員にさせられていて毎月5500円の会費が引き落とされていることが分かった。解約したい。（70代 女性）

《事例2》

クレジットカードに1年以上前から毎月出版社名で請求が上がって料金を支払っていたことが最近分かった。その出版社から書籍を購入したことがあるが、その後は利用した覚えがない。返金してほしい。（60代 女性）

《事例3》

先月、有料動画配信サービスの契約をした。解約したつもりだったが、クレジットカードで月会費1000円が決済されていることが分かった。解約するための情報を忘れてしまった。どうしたらいいか。（50代 男性）

《アドバイス》

事例1はインターネット上、および電話で解約ができることを伝え、連絡先等を案内しました。事例2はセンターから事業者を確認したところ、相談者が書籍購入後、同社の動画コンテンツ紹介ページから初回0円の動画を購入。翌月から有料となり、1年後の契約更新の案内に連絡がなかったため自動更新されていたことが分かりました。自身で手続きをしているので、以後は解約するが、返金はできないとの対応でした。事例3はスマートフォン対応のみのコンテンツで、契約先の電話番号は確認できませんでした。メールアドレスがあったので、事業者にお問い合わせしてみるよう助言しました。

無料体験、無料トライアルの広告・表示をきっかけにサブスクを申し込む際には、相手方の事業者名、サービス内容、解約方法を確認しましょう。申込時のパスワード等の登録情報は解約手続きに必要なになるので忘れないようにしましょう。利用していないサブスクの支払いがないか、クレジットカード等の明細は毎月確認しましょう。

電熱ウェアの異常発熱に注意しましょう！

モバイルバッテリーなどを用い、衣服に内蔵された電熱線を発熱させて温める電熱ウェアに関する相談が増えています。使用していたら首元が焦げて穴が開いたという事例もあります。

☆電熱ウェア内部の電線等に負荷をかけないなど、丁寧に扱い、異常を感じたらすぐに使用を中止しましょう。

☆取り扱い説明書及び本体の注意表示をよく読んで理解してから使用しましょう。

☆製造元や販売元、型式や機能といった仕様が明示された商品を購入しましょう。

(2022.11.30 国民生活センター公表)

《消費生活センター 今後のイベント予定》

「国産大豆でみそを手作りしよう！」……申し込み受付終了

1/24 (火) 午後1時～午後3時 町田市民フォーラム3階 調理室

「賢い“あぶら”の撮(と)り方を学ぼう」……1/24まで申し込み受付中

1/31 (水) 午後1時～午後3時 町田市民フォーラム3階 視聴覚室

【お申込み先】 町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】 町田市消費生活センター 042-725-8805